

現地調査報告・施工提案書

平成 23 年 1 月

プロテクトサービス 株式会社浩生

□ 現況

株式会社〇〇〇様におきまして、ケーブルラックにハトの住み着きがあるとの事で現地調査に伺いました。

被害箇所を調査しましたところ、特に糞害が発生していた場所はケーブルラック並びに鉄骨梁部分で、ケーブルラック底面の産毛の付着や、産み落としと思われる卵も確認されました。よって過去にこの付近での営巣があった可能性は非常に高いものと思われます。

今回の調査結果よりハトの営巣箇所又は埒（ねぐら）となっていた場合、このまま放置されますと糞汚染が拡大し続ける可能性が強い上、美観の問題では留まらず、健康上の問題や建物としての資産価値を下げる問題に繋がります。



南側建物の玄関付近にも糞害が発生



ケーブルラック底面に付着した産毛



北側の建物玄関の飛来箇所



産み落としらしき卵を確認

□ ハト飛来の理由

- ① 工場や倉庫等は天敵（カラスなど）や雨風から身を守るのに適していること。
- ② 安全な生活空間（営巣・埒）になりえるとハトが認識していること。

以上が主な理由となります。

※ハト公害につきましては以下の理由により早急な対策が必要になります。

- ヒナが巣立った場合、成鳥になってから生まれた場所に戻り更に繁殖します。

※ハトは、通常年に4～6回2個ずつ産卵し、ヒナは約3ヶ月で巣立ち10ヶ月で成鳥となります。特に近年は食糧事情が良好な為、産卵回数が増加していると言われております。

- ハトは自分の住処に対する執着心が非常に強い鳥です。

※追い払ったり、通常対策方法（ネットや剣山、各種防鳥グッズ等）ではこの執着心を打ち消すことは出来ません。

特に寝泊りする場所や過去に巣を作った場所に対しては執着心が一層強くなります。

□ P T - I 以外での対策方法とその問題点

一般的なネット工法や剣山型の器具を設置する方法が用いられがちですが、これらの対処方法では物理的に飛来を阻止することが目的の為、ハトにとってはその場所への執着心が薄れることはなく、一時的な効果になることが大半になり、少しの隙間があるとその隙間からハトは侵入してきます。

防ハト対策のポイントは前述に記しました執着心を無くすことにあります。

□ P T - I 設置／塗布事例



P E Tカップを使用した設置方法



直接塗布方法

□ P T - I について

弊社忌避剤【P T - I】は、**正しく施工することで100%の効果を発揮します。**

塗布後直ちに効果が確認でき、ヒナや卵を抱えている親鳥に対しても1週間程度で効果が表れます。人体やハト、その他動物に悪影響は全くありません。又、1度忌避剤を覚えたハトはそこへは2度と近づきません。但し、本忌避剤の目的はハトが薬を踏みつける、もしくは体に付着させることによって学習（執着心を断ち切る）させるものなので、完全に学習が終わるまでは踏圧等による薬の拡散や落下が少量ですが起きる可能性がありますので、ご了承ください。

忌避が完了致しますとそのようなことは無くなりますが、他の場所に付着した忌避剤は拭き取ることが可能です。美観補修のための有料アフターサービスもご用意しております。また、忌避剤の変色や忌避剤に小虫が付着することがありますが効果に影響はありません。

□ 迷いバト等忌避剤を知らない別のハトが偶然飛来（羽休め等の極めて一時的な飛来）し、その際に微量の糞を落とす可能性があります。本忌避剤第一の目的はハトの住み着きによる多量の糞害を解決する為のものとなりますのでご了承の程お願い致します。

■ ハトの飛来が無くなった後ですが、万一の再飛来に備えて忌避剤はそのままにしておくことが基本となります。

また、塗布箇所につきまして、雨の当たる箇所では1年間、雨の当たらない箇所では3年間の保守保証をお付け致します。

忌避剤対策をした箇所には100%ハトは寄り付きませんが、次にどの場所へ移るかという予測は非常に難しいことも併せてご理解頂けますようお願い致します。

以上、今回の調査結果より御社様の見積依頼箇所を施工した場合と、弊社にて対策を取れる事をお勧めさせて頂いた場合の2パターンの御見積を提出させていただきます。

調査報告及び弊社提案内容は以上となりますが、ご不明な点等ありましたらご連絡いただけますよう宜しくお願い致します。